

MUSASHINO MUNICIPAL ASSEMBLY

武蔵野市議会だより

No.316

発行日 平成17年(2005年)11月1日

発行 武蔵野市議会
東京都武蔵野市緑町2-2-28
TEL 0422-60-1883(直)
FAX 0422-55-7555

CONTENTS

- 決算特別委員会審査概要 ……2-3面
- 一般質問 ……4面
- 議会改革検討始まる ……5面
- 武蔵野市の視察受入れ状況 ……5面
- 議案の審査結果一覧 ……6面
- 政府・都への意見書 ……6面
- 陳情審議結果 ……6面

第二回市議会臨時会・第三回市議会定例会閉会

八月二十三日に会期一日で開かれた第二回臨時会は、市長の退職の期日に関する同意がされたほか、市長提出議案の専決処分の承認を求めることについて(平成十七年度武蔵野市一般会計補正予算(第二回)が承認されました。九月二日から開かれた第三回定例会は、九月二十九日に閉会しました。平成十六年度の武蔵野市各会計の決算の認定、武蔵野市非常勤消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例など十三件の市長提出議案、市立小・中学校就学者に対する教育費助成に関する意見書の議員提出議案の議決のほか、七人の議員が一般質問を行うなど、活発な議論が交わされました。

平成十六年度決算を認定

平成十六年度の決算が九月二十九日の本会議において認定されました。「平成十六年度武蔵野市決算の認定について」と「平成十六年度武蔵野市水道事業会計決算の認定について」の二議案は、二十日に設置された決算特

別委員会に付託され、実質四日間の審査を行い、二十七日の委員会最終日の討論終了後、両議案とも認定すべきものと決しました(二・三面に決算特別委員会審査概要を掲載)。二十九日の本会議では、両議案につ

市長の退職の期日に同意

この後、採決を行い、「平成十六年度武蔵野市決算の認定について」は賛成多数で、「平成十六年度武蔵野市水道事業会計決算の認定について」は全会一致で認定されました。

以後、松本清治決算特別委員長が委員会で審査経過の報告を行い、質疑の後に、日本共産党武蔵野市議団、むさしのリニューアルの代表、会派に属さない議員一名が「平成十六年度武蔵野市決算の認定について」には反対、「平成十六年度武蔵野市水道事業会計決算の認定について」には賛成討論を行い、自由民主クラブ、民主・市民ネット、市議会市民クラブ、市議会公明党の代表が両議案に賛成の討論を行いました。

八月二十三日に第二回市議会臨時会が開催され、市長の退職の期日に関し全会一致で同意しました。この同意は、土屋正忠前市長が衆議院議員選挙に立候補するため、退職の申出を八月十八日に市議会議長に行ったことによるものです。地方自治法により、市長が退職する場合、退職する日の二十日前までに申し出ますが、申出後二十日以内に退職を希望する場合には、議会の同意が必要となります。同意後、土屋前市長は退職の挨拶で、二十二年と四ヶ月にわたる任期を振り返り、任期半ばで退職し、国政に出ることを決めた最大の理由は、本市と本市の市民が成し遂げてきたことを、国の制度設計を行っている霞ヶ関や永田町に訴え、生かしていきたいためであると述べ、申し出の通り八月二十九日をもって武蔵野市長を退職しました。臨時会ではこのほかに、九月十一日に実施された、衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官の国民審査の執行に要する経費の予算措置を内容とする補正予算の専決処分を全会一致で承認しました。

Photo Gallery

フォトギャラリー



●市議会だよりは、市民のみなさんからの公募写真を一面に掲載しています。次回の応募要領については、6面をごらんください。

決算特別委員会 審査概要

決算特別委員会は9月20日、委員11名からなる決算特別委員会を設置し、正副委員長を選出しました。決算の審査は、9月21日から27日までの実質4日間で行われました。一般会計及び4特別会計の歳入決算総額、920億6,762万円、同歳出決算総額、890億9,721万円で29億7,041万円が翌年度へ繰り越されました。また、水道事業会計の収益的収入及び支出は、収入36億5,851万円、支出30億8,154万円で、差し引き5億7,697万円(消費税等控除後)の純利益となりました。以下は各委員から、昨年度の決算について議論が行われた決算特別委員会の審査概要です。



決算特別委員会の審査の様子

総括質疑

職員定数削減の実施状況は

問 平成十六年度の職員定数削減の方針及び実施状況を伺う。

答 平成八年に策定した行財政改革を推進するための基本方針、第三次職員定数適正化計画、長期計画等に基づき職員の嘱託・委託化を進めている。清掃業務、保育園給食調理にかかわる職員及び保育士の減員を行い、健康づくり支援センター準備、ケーサーワーカー、子育てSOS支援センター等の職員を増員した。三、三位一体改革によって、国・都からの保育所運営費負担金が廃止されたが、影響はあったか。

答 公立保育園分の保育所運営費負担金は廃止され、暫定的に所得譲与税を一般財源化する措置がとられている。

問 職員の退職時昇給、土日勤務手当支給は今も行われているのか。

答 退職時昇給は既に廃止した。土日勤務手当は組合に廃止の提案をしたが、反対にあっている。職員の給料表の上昇カーブについて、都の表と比較していることだが、検討状況を伺う。

問 本市の職員給料表は年功序列型である。今年的人事院勧告では高年層を引き下げ、若年層を引き上げという方向が示されており、マイナス勧告の中で見直しは難しいが、鋭意取り組みたい。



松本 清治 決算特別委員長

審査した特別委員

平成16年度決算審査に当たった特別委員の氏名は、次のとおり。

◎松本 清治 ○土屋美恵子
田辺あき子 梶 雅子
近藤 和義 田中 節男
三宅 英子 砂川なおみ
井口 良美 石井 一徳
桑津昇太郎

◎印 委員長 ○印 副委員長

歳入

清掃事業収支の今後は

問 清掃手数料が有料化された一方、資源物収集業務に六億四千万円かかっている。清掃事業収支は今後どのようになるのか。

答 手数料、委託料等さまざまな側面があり、収支の予測は難しい。総合的な観点から対策を立てる必要がある。国の容器リサイクル法見直しなどにも注視していきたい。

問 雑入の弁償金で、収入未済額九千五百万円、不能欠損額三百七十万円とあるが、具体的にどのようなものがあるのか。

答 生活保護費の返還金千四百万円を初めとして、福祉型住宅の共益費、児童手当等返還金などが主なものとなっている。

問 武蔵野市は固定資産税が高いのではないかと、誤った問い合わせを聞くが、広く正しい広報していくべきではないか。

答 担当でいくべきではない。全国同一の標準税率によって課税していることで、固定資産税が高いというよりは、固定資産税が低いというのでは、市報特集号やホームページなどでも説明しているが、今後も広報に努めたい。

総務費

子どもの食に関する業務に

問 子どもの食に関する業務について、今後の展開を伺う。

答 子どもの夜更かし、食の乱れ等、食の問題を中心としたキヤンペーン事業を考えている。

問 昨年起きた住民票のなりすまし取得事件後の対策について伺う。

答 本人確認を厳格化するための「事務取扱要綱」を七月一日に施行し、現在運用している。

問 庁用車の運行を東京都の外部委託する考えはあるか。

答 助役車は既に運転の委託を行っている。今後、委託を増やすかどうかは、研究していきたい。

問 市政センターの夜間窓口職員の体制はどうなっているか。

答 一日三名体制である。フレックスタイムを導入し、職員の超過勤務手当約三百万円を削減した。

問 武蔵野公会堂やコミュニティセンターのバリアフリー対策等について、改修の計画はあるのか。

答 長期計画を検討する過程で広く議論していきたい。

民生費

認知症発症進行予防

問 認知症発症・進行予防に関する学際的実証事業の実施内容を伺う。

答 高齢者健康基礎調査を実施し、認知症予防プログラムを3グループで開始。指導者の育成やシンポジウム、講演会等を実施した。

問 家具転倒防止金具取り付け事業の申請が十六年度に急増した理由を伺う。

答 中越地震やスマトラ沖大地震およびインド洋津波が起きたことが影響していると考えられる。

衛生費

シニア活カアツ

問 シニア活カアツ推進事業の一年間の成果はどうだったのか。

答 終了後の調査では、総合体育館や地域健康クラブ、不若者等が運動を継続している方が多い。

問 歯科医療連携推進事業の実施内容を伺う。

答 協力医療機関名簿と地図を作成し、地図を各福祉施設等に配布した。その他、市民対象の講演会、専門職や協力医療対象の研修会等を実施した。

問 コーエーエネションのシステム設置は予算計上されていたがどうなったのか。

答 当初衛生費で予算計上したが、環境教育の観点から大野田小に設置することとなり、教育費で執行した。

問 ごみ収集作業時間中に喫煙している職員を多く見かけるが、しっかり指導すべきではないか。

答 以前から運転中や取集中は禁煙することを徹底しているところだが、再度徹底を図りたい。

問 クリーンセンター爆発事故以降、危険物の搬入状況はどうなっているのか。

答 季節等で変動はあるが、卓上ガスボンベは一日平均千から千二百本搬入され、職員が一本ずつ穴を開けガスを抜いている。

土木費

ムーバス新路線の調査どのように

問 ムーバス新路線についてどのような調査を行っているのか。

答 交通不便・空白地域を対象に、内部で詳細な調査を行っている。

問 外環道路を大深度地下で通した場合の地上部の扱いについて、都や近隣区市との話し合いは行ったか。

答 今後、周辺のまちづくり・道路整備等について各自自治体と協議することになっている。

問 吉祥寺駅南口の暫定広場開きの進捗状況は。

答 現状では土地計測も済んでおらず、建物の調査と併せてお願いしている状況だ。今後も誠意をもって努力していきたい。

農業・商工費

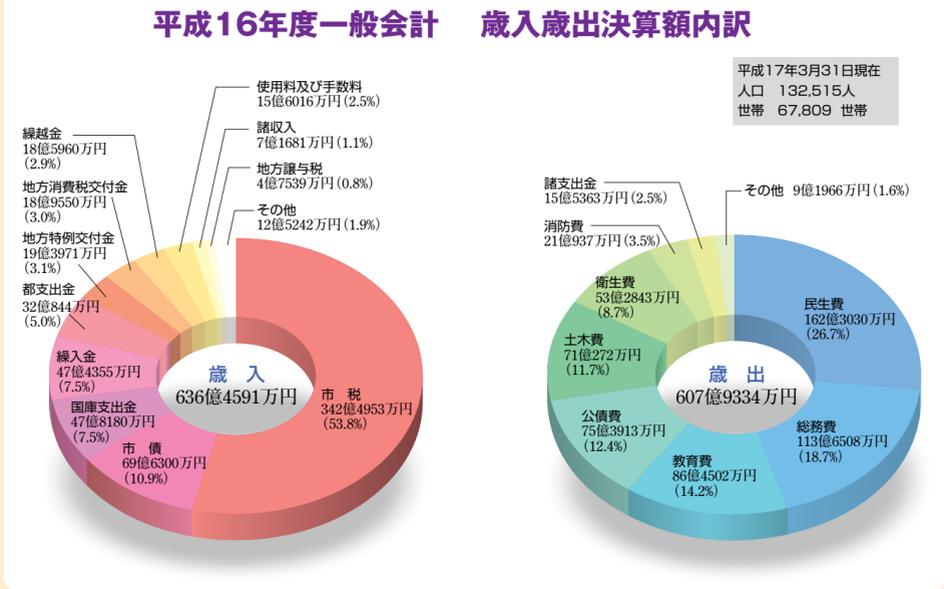
アンテナショップ

問 アンテナショップをめぐら帽子は、姉妹・友好都市との交流などの目的があり、増収増益のみが目的ではないにしても、新たな経営努力が必要ではないか。

答 十六年度には保育園、学校給食に変わら帽子の食材の提供を行っている。収益は徐々に伸びている状況であり、今後もさらに顧客開拓に努めていきたい。

問 市民農園を今後増やすことは検討しているのか。

答 市民農園への申込み倍率は2倍前後のため、農地所有者より農地を貸していただけでは、受け入れていきたい。



監査意見書

一般会計、四特別会計

審査に付された各会計の歳入歳出決算書及び付属書類は、法令に準拠して作成されており、決算の計数は、関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りはないものと認められた。

また、これらに伴う会計事務処理は法令等に従って適正に執行されており、さらに基金の運用状況を示す書類の金額は、基金出納簿及び証書類と符合し、計数は正確なものとして認められた。

地方分権が着実に進む中、住民に身近な地方自治体の役割がますます重要になっていく。厳しい財政状況下において、住民の多様なニーズに適切に対応するため、各種財源を確保するとともに、事務事業を常に見直し、時代の変化に対応した新たな課題に適切に対応できる組織体制の確立、人材の育成を行うなど、健全で効率的な行政運営に取り組みれることを期待する。

水道事業会計

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法その他関係法令に準拠して作成されており、その計数は正確であり、関係諸帳簿と合致していることを確認した。

また、決算諸表は、水道事業の経営成績及び財政状況を適正に表示しているものと認められた。

監査委員 内田 博/鈴木有臣

決算に対する 討論

9月29日の本会議で、7人の議員から「平成16年度武蔵野市決算の認定について」と「平成16年度武蔵野市水道事業会計決算の認定について」の議案に対する討論が行われました。

次世代を担う若者たちへの環境整備を求む

桑津昇太郎議員(賛成)
市議会市民クラブを代表し、平成16年度武蔵野市決算及び水道事業会計決算に賛成する。国内景気の低迷が続く中、限られた財源を効率的、効果的に配分し、市民福祉の向上に努められたと評価する。重点的施策である市民生活の安心・安全、大野田小校舎建てかえ、環境、高齢者福祉、子ども施策等も着実に実行された。今後も市民の満足度の向上や、次世代を担う若者たちの環境づくりの充実等をお願いし、本決算に賛成する。

厳しい税収見通しの中もっとスリムな市政運営を

三宅英子議員(賛成)
一般会計に反対、その他の会計に賛成)むさしのリニューアルを代表し、平成16年度武蔵野市一般会計決算に反対、4特別会計及び1企業会計決算に賛成する。今後の高齢化・団塊世代の退職等により個人市民税の減少が予測されるが、容弁に危機感や市政をスリムにする意欲は乏しい。また、他自治体ない専門委員制度のあり方にも問題がある。これまで求めてきたわかりやすい決算書・資料作成も実施されず、市民への説明責任としてこれらの作成を強く求める。

政策の実施にあたって市民の意見を十分に反映するよう求める

砂川なおみ議員(賛成)
民主・市民ネットを代表し、平成16年度武蔵野市決算及び水道事業会計決算に賛成する。歳出、歳入ともに前年を上回っているとはいえ、個人住民税が減少している中で、税金をどう有効に使うか、さまざまな立場の市民の意見を政策にどう反映するのか考える必要がある。福祉、子育て、教育、文化、市民生活、環境等のさまざまな面で課題がある。行政と市民1人1人との信頼関係に基づく、つながりの仕組みを築いていくよう要望する。

市の借金を減らし、新しい市政発展を求む

山本ひとみ議員(下水道事業、水道事業会計には賛成、その他の会計に反対)
平成16年度武蔵野市決算のうち、一般会計、国民健康保険・老人保健(医療)・介護保険の三特別会計には反対、下水道事業及び水道事業会計には賛成する。市民の高い担税力に支えられた財政状況を考えれば、速やかに市の借金を減らしていくべきだ。しがらみにとらわれない新しい市政発展のため、入札制度改革や、農水省跡地の新公共施設規模縮小などの更なる行財政改革、中学校給食実施等の子育て支援について要望する。

限られた財源で最大の効果を評価

近藤和義議員(賛成)
自由民主クラブを代表し、16年度武蔵野市決算及び水道事業会計決算に賛成する。市民自らの安心のまちづくりを意識させた市民安全パトロール隊の発足を初め、その他多くの施策・事業が市税減収の限られた財源の中で大きな成果を上げている。高く評価し、さらなる発展を期待する。今後は魅力ある吉祥寺づくり、ムーバス導入を含めた中央圏の都市整備、0123事業の西部地区への拡大など新たな事業展開を期待する。

セカンドスクールの今後は

問 セカンドスクールの今後についてどのように考えるか。

答 現代の子どもは自然体験、直接体験が欠けている中で、セカンドスクールの意義を学校、保護者に再認識させることが重要だ。教育企画会議の中で、小・中学校9年画を通じての宿泊体験学習の今後のあり方について総合的に検討していく。

問 修学旅行の業者が偏り、金額も高いと感じるが見直す予定はあるか。

九月四日の大雨

問 九月四日の大雨では、吉祥寺北町などで浸水したが、貯水槽を拡張、増設するなど抜本的な対策が必要ではないか。

答 九月四日の雨は想定を超えており、雨水の処理が到底間に合うものではなかった。市内は一時間に五十ミリまでの降雨量を想定して整備されており、抜本的な対策はなかなか難しいと考えているが、最大限努力していきたい。

下水道事業会計

問 本市の金額が全都平均より高いということはないが、今年度から業者、保護者と共に旅行の内容や武蔵野地域自由大学の講座内容を充実させる考えはあるか。

答 現在、独自の講座として5大学の教養講座を設けているが、より専門性のある講座を設置することが今後の課題である。

問 学校運営交付金の使途について教育委員会による指導は行われているのか。

答 交付金の趣旨は各学校長に予算執行権を与え、特色ある学校づくりに役立ててもらうことにある。要綱や簡単なガイドラインはあるが、その他は校長の判断に任せている。

消防費

災害対策用井戸の管理体制は

問 小・中学校の災害対策用井戸のかぎの管理と作動確認の状況は。

答 月一回、防災課職員が井戸のポンプを動かし、電気設備の点検や簡単な水質検査を行っている。

問 震災対策のビデオを制作したとのことだが、小・中学校の教育に活用することは考えていないか。

答 今後、学校や自主防災組織での活用を考えたい。

教育費

問 小・中学校の災害対策用井戸のかぎの管理と作動確認の状況は。

答 月一回、防災課職員が井戸のポンプを動かし、電気設備の点検や簡単な水質検査を行っている。

問 震災対策のビデオを制作したとのことだが、小・中学校の教育に活用することは考えていないか。

答 今後、学校や自主防災組織での活用を考えたい。

一般質問

第3回定例会で、1日目の9月2日、市政全般について7名の議員が一般質問を行いました。この中から質問項目を要約して掲載します。詳しくは、各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所の市政資料コーナーに置いてある会議録(11月下旬発行予定)、または武蔵野市議会ホームページの会議録検索(第3回定例会分は11月21日登録予定)でご覧いただけます。



※一般質問とは、議員がその属する地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告を求め、または疑問を質することをいいます。

詳しい内容はこちらのアドレスから検索いただけます。

<http://asp.db-search.com/musashino-c/>

さらなるアスベスト対策の充実を求める

砂川なおみ議員

問 現行のアスベスト関係の規制では、アスベスト使用が不明の民間の小さい住宅等への対応が不十分ではないか。

答 全体的に調査を実施するような規制は国や都レベルで行うべきことで、市は現行制度の中でしか対応できない。

問 大野田小学校旧校舎の解体工事の際のアスベスト調査はどのように行ったのか。

答 建築物の建築年次、種類、規模などからアスベスト使用の可能性について確認した後、設計図書調査、アスベスト含有製品リストの照会を行い、建材採取などの現場調査を行った。

10兆円ものサラリーマン増税に反対の声を

山本ひとみ議員

問 政府税制調査会は各種控除や定率減税の減少・廃止等を打ち出した。サラリーマン家庭への打撃であるだけでなく景気回復に逆行すると考えるが、①市財政への影響は②国に対し反対の意思表示をすべきでは。

答 ①まだ具体的に示されておらず、予測は不可能だ②都市財源拡充としての市税増収という一面もあり、考えていない。

問 市民大運動会は、楽しみにしている方もいる一方、参加者集めを負担に感じる方もいる。規模や内容等を見直すべきでは。

答 実行委員会を通じて毎年見直している。このほか吉祥寺駅南口・女子大通りの道路の安全対策等について質問がありました。

吉祥寺駅周辺の防災対策について

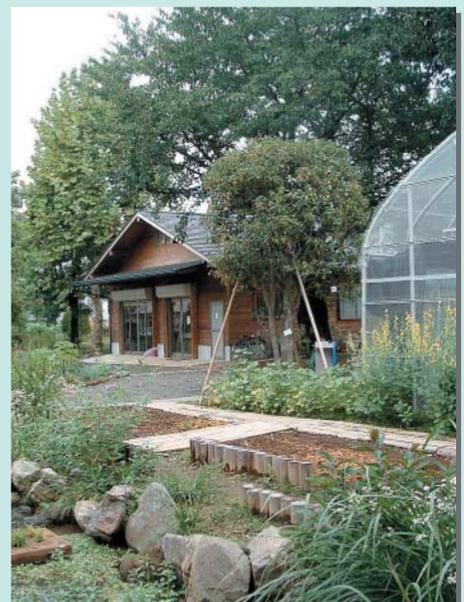
梶 雅子議員

問 発災時の吉祥寺駅周辺における不特定多数の人々の避難誘導の体制を確立することが急務であるが、所見を伺う。

答 平時からの啓発活動や避難場所の案内表示の設置、発災時には非常放送などの対策を行う。また来年度、地域防災計画の見直しを行う中で、帰宅困難者問題、繁華街対策についても改めて検討する。

問 アスベスト対策の一環として、市民が相談しやすい総合窓口を市役所内に設置することを求めるがいかがか。

答 安全対策課が相談窓口になっている。具体的な相談に対しては専門的な知識が必要であるため、専門機関を紹介していく。



●7月24日、武蔵野市の基幹ビオトープとして「むさしの自然観察園(北町ビオトープ)」が開園しました(吉祥寺北町3,12)。NPO法人「武蔵野自然塾」のスタッフによって園内で育てられた生き物は保育園や各学校ビオトープに提供されます。



●床上浸水が64件など、市内全域に被害があった9月4日の記録的な大雨のため、都立武蔵野中央公園のはらっぱに池ができ、水鳥が泳いでいました。(9月5日朝、椎名徳勇さん撮影)

行財政改革の成果数値目標の設定を

川名ゆうじ議員

問 市が過去10年間に行った行政改革によるコスト削減額は概算でどの程度か。

答 平成8年度より実施している職員定数適正化計画等によって、16年度までに人件費9億600万円、事務事業の見直しで18億6,200万円、経費節減で2,900万円削減した。

問 ①桜野小学校北校舎の今後の活用方法は②旧桜堤小学校の活用の検討状況は。

答 ①同校学区域では児童数の増加に伴い学級増が見込まれ、現在の会議室や倉庫の代替場所としての活用を検討している②現在東校舎1階の陶芸室と4階を市民に開放しており、十分活用されていると考えるが、今後も検討していきたい。

国保連協会長選挙で事務のミスを買す

本間まさよ議員

問 国民健康保険運営協議会の会長、会長代行の選任にあたり、①市は運営協議会の委員には候補を募らず、内々での話し合いを正式決定としたこと②会長等の変更の文書を公益委員である市議会議員には送付しなかったことなど、今回の選任方法には大きな問題があるが、市の見解を伺う。

答 ①公益委員の話し合いの場で立候補があったものと理解している②会長等の選任について、公益委員には既に周知されていると判断し文書の送付を省略したが、確認が不十分だった。

このほか、武蔵境駅南口周辺の自転車対策の質問がありました。

PTA活動から保護者の漫画家を排除する動きが見られたのは異常だ

大野まさき議員

問 市立学校保護者のある漫画家に、学校側が学校を描かぬよう伝えたことが、他の保護者に伝わったと聞く。問題ではないか。

答 学校側より情報を伝えた事実はない。信頼関係を築きつつ、解決を働きかけたい。

問 介護保険制度改正で、①施設の利用者が負担区分で公平性を欠く恐れはないのか②市民向け説明会実施の意向はあるのか。

答 ①不公平になるとは想定していない。その恐れがある場合、その都度対応したい②全体的な説明会でなく、制度改正のお知らせを発送するなど、個別に対応している。

このほか、地域施策の少子化への影響、地域防災についての質問がありました。

市長と市職員の適切な関係について

三宅英子議員

問 市職員は市長との関係において公私の区別をつけることが重要であると考えているが、①昨年、前市長が個人名で出版した本の取り扱いを市内書店へお願いする文書を助役名で送付したこと等は適切と言えるか②助役や元市の幹部が前市長の後援会に多額の寄付を行っていることをどう考えるか伺う。

答 ①市長という立場で発刊したものであり、本市の施策について市民に紹介するという点で適切だと判断した②一個人の考え方に基づいて寄付やカンパをすることに何ら問題はないと考える。

このほか、市民意見募集の手続き等についての質問がありました。



●市内6カ所目となる在宅介護支援センターが10月1日に開所しました(住所:吉祥寺本町4-20-13)。業務は、①総合相談(担当地域:御殿山2丁目、吉祥寺本町全域)②デイサービス③緊急一時ショートステイ④喫茶サービスです。問い合わせは、吉祥寺本町在宅介護支援センター(TEL23-1213)へ

議会改革検討 始まる

議会運営委員会

- ① 全般的事項に関すること
- ② 日程に関すること
- ③ 諸報告に関すること
- ④ 施政方針に関すること
- ⑤ 一般質問に関すること
- ⑥ 議案の上程、質疑に関すること
- ⑦ 議員提出議案に関すること
- ⑧ 請願・陳情に関すること
- ⑨ 委員会・委員長報告に関すること
- ⑩ 採決に関すること
- ⑪ 会議録に関すること
- ⑫ その他



武蔵野市議会では、議会運営の迅速化、効率化を図り、市議会をより市民にわかりやすく、身近なものにするため、議会運営委員会、各会派代表者会議、議会広報委員会の3つの委員会で議会改革の検討を開始しました。

初回は各会派、会派に属さない議員、議長からそれぞれ「改革案」が提出され、趣旨説明が行われました。また、他市(多摩地域25市)の状況について調査を行いました。今後、これらを参考に、左右の改革事項について具体的な検討を進めていきます。

今年度中に、改革の方向性を発表する予定です。議会改革の検討は、議会運営委員会・各会派代表者会議は月2回、議会広報委員会は月1回程度開催されます。詳しい日程はホームページにて掲載します。

なお、議会改革に関わる部分は、傍聴できますので詳しくは、議会事務局(TEL60-1883)までお問い合わせください。

各会派代表者会議

- ① パソコン・インターネット等機器の使用に関すること
- ② 市政調査研究費に関すること
- ③ 会議室の使用に関すること
- ④ 議会図書室に関すること
- ⑤ 情報公開に関すること
- ⑥ その他

議会広報委員会

- ① 議会だよりに関すること
- ② 武蔵野市議会ホームページに関すること
- ③ 議会中継に関すること



武蔵野市の視察受け入れ状況

武蔵野市が行っている施策は、全国の自治体等から多くの行政視察を受けています。平成16年のデータをもとに、様々な自治体関係者から視察希望の多い施策をご紹介します。

視察項目別

1位	0123吉祥寺・はらっぱ	13件
2位	ムーバス	12件
3位	子育て支援全般	10件
4位	テンミリオンハウス	9件
5位	子育てSOS支援センター・介護保険制度	7件
その他の施策	※コミュニティ行政、アンテナショップ、学校ビオトープなど	72件
合計		123件

地域別



▲0123はらっぱ

▼ムーバス



行政視察で訪れる団体を地域別に見てみると、近畿地方や九州地方、中部地方からの視察が多いことがわかります。また、視察項目のランキングでは子育て施策や福祉施策の人気が高くなっています。

8月3日から5日にかけて、本市市議会議員18名が、友好都市の山形県酒田市、岩手県遠野市を訪問しました。両市市議会との交流会を初め、酒田市では歴史的建造物の山居倉庫や土門拳記念館などを、遠野市では遠野ふるさと村などを視察し、家族ふれあい自然体験で遠野市を訪れていた本市市民との交流も行いました。



●遠野自然ふるさと村を訪問する議員団一向



●今でも現役の農業倉庫として使われている酒田市の山居倉庫

8月22日、友好都市・山形県酒田市より阿部與士男市議会議員が本市を訪問されました。酒田市をはじめ各姉妹・友好都市の物産品の販売、PR、観光情報の発信を行う、アンテナショップ「麦わら帽子」を視察されました。



●アンテナショップ「麦わら帽子」

武蔵野市市制施行45周年を記念して、昭和62年に姉妹都市盟約を締結した長野県豊科町は、本年10月1日から3つの町と2つの村が合併して、新たに「安曇野市」としてスタートしました。これに先立つ9月25日には、豊科町の閉町式が行われ、古田土市長職務代理者、山下議長が出席しました。



●豊科町からは、武蔵野市との友好を記念してあづみのガラス細工の置物が贈呈されました。写真は、贈呈を受け、あいさつを行う古田土市長職務代理者(上)と、いただいたガラス細工(左)。

第3回定例会で可決された意見書は1件で、政府・都へ提出されました。その要旨は次のとおりです。

国民のひとしく教育を受ける権利は憲法に認められたものであり、児童生徒は自分の個性に合った学校を選び、学習する権利があります。現代は、国際化と価値基準の多様化が進み、次の世代を担う児童生徒には個性を伸ばすための教育の重要性が指摘されています。それぞれ建学の精神に沿い、独自の教育を展開している私立学校がこうした意味でも求められています。

また、いろいろな理由から一般の公立学校に入りがたい児童生徒もいます。身体的、知的なハンディキャップから、よりきめ細やかな教育を望む場合にも私立学校が大きな役割を果たしております。しかしながら、社会経済はまだまだ低迷を続け、私立小・中学校に就学させている父母にとって学費負担は著しいものとなっております。法の下の平等の原則から、児童生徒に十分な教育を受けさせる意味からも、教育費助成の重要性がうかがえます。貴職におかれましては、上記の実情を御考察され、私立小・中学校就学者に対する教育費の助成措置を講じられるよう強く要望します。

(財務大臣・文部科学大臣・東京都知事あて)

私立小・中学校就学者に対する教育費助成に関する意見書

意見書

政府・都へ

議案の審議(可決等)結果一覧

第2回臨時会

【市長提出議案等(2件)】

- 専決処分の承認を求めることについて(平成17年度武蔵野市一般会計補正予算(第2回))...承認(全会一致)
※衆議院議員選挙のための補正予算(総額5,736万7,000円を予算に追加)の専決処分の承認を求めるもの。
● 市長の退職の期日に関する同意について...同意(全会一致)

第3回定例会

【市長提出議案(13件)】

- 専決処分の承認を求めることについて(平成17年度武蔵野市一般会計補正予算(第3回))...承認(全会一致)
※武蔵野市長の退職に伴う市長選挙のための補正予算(総額5,246万8,000円を予算に追加)の専決処分の承認を求めるもの。
● 武蔵野市非常勤消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例...可決(全会一致)
● 武蔵野市手数料徴収条例の一部を改正する条例...可決(全会一致)
● 武蔵野市高齢者福祉総合条例の一部を改正する条例...可決(全会一致)
● 武蔵野市立老人介護支援センター条例の一部を改正する条例...可決(全会一致)
● 武蔵野市介護保険条例の一部を改正する条例...可決(賛成多数)
● 東京市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約...可決(全会一致)
● 東京高等裁判所平成17年(ネ)第1919号所有権確認請求控訴事件に係る和解について...可決(全会一致)
● 市道路線の認定について...可決(全会一致)
※境3丁目の市道第306号線の認定を求めるもの。
● 市道路線の認定について...可決(全会一致)
※境3丁目の市道第307号線の認定を求めるもの。
● 平成17年度武蔵野市介護保険事業会計補正予算(第1回)...可決(全会一致)
● 平成16年度武蔵野市決算の認定について...認定(賛成多数)
● 平成16年度武蔵野市水道事業会計決算の認定について...認定(全会一致)

【諮問(3件)】

- 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて...異議なし(全会一致)
※人権擁護委員、上杉泰顕氏の任期満了に伴い、再度候補者として推薦することについて議会の意見を求めるもの。
● 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて...異議なし(全会一致)
※人権擁護委員、多古義信氏の任期満了に伴い、再度候補者として推薦することについて議会の意見を求めるもの。
● 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて...異議なし(全会一致)
※人権擁護委員、河北祐子氏の任期満了に伴い、再度候補者として推薦することについて議会の意見を求めるもの。

【議員提出議案(1件)】

- 私立小・中学校就学者に対する教育費助成に関する意見書...可決(全会一致)

むらかみもりまさ 邑上守正氏新市長に就任

土屋前市長の衆議院議員選挙出馬に伴い、武蔵野市長選挙が10月9日(日)行われ、邑上守正氏が新しい武蔵野市長に就任しました。12月に開催予定の第四回定例会で、新市長の今後4年間の施政方針演説と、それに対する各党派からの代表質問が行われる予定です。

本会議の予定は、議会事務局までお問い合わせください。



●市民や職員に迎えられ初登庁する邑上新市長

議会ダイヤル

Table with 4 columns: Organization Name, TEL, FAX, and another contact info. Includes Free Democratic Club, Democratic Citizens' Network, City Council Citizens Club, City Council Public Party, Japanese Communist Party Musashino City Council, and various council members.

議会事務局
◎議会だよりへの御意見、御要望をお聞かせ下さい。
TEL 0422-60-1883
E-Mail OFC-GIKAI@city.musashino.lg.jp
HomePage http://www.city.musashino.tokyo.jp/assembly/

陳情 審議結果

採択

事業にかかわる支出金額の広報に関する陳情(※)
市内在住の私立小・中学校就学者に対する教育費助成に関する陳情

意見付き採択

建築審査会裁決に基づく実施内容公表に関する陳情(※)

継続

- 「浜岡原発震災」における子どもと妊婦のための放射能災害対策に関する陳情
障害を持つ子どもたちの学童クラブ入所資格の緩和に関する陳情
旧農水省跡地利用計画について市民への説明会開催に関する陳情
農水省跡地利用施設事業にかかわる議論・検討に関する陳情
コミュニティバス新路線に関する陳情
第3期介護保険計画策定に関する陳情
武蔵野市長が内閣総理大臣に、「市民の生命を守るため一刻も早く浜岡原発全基を止めよ」の要請を提出することに関する陳情
法政大学第一中・高等学校校移転後の記念講堂及びテニスコート取得に関する陳情
法政大学第一中・高等学校校記念講堂及びテニスコートに関する陳情

(※)は継続審査となっていたものです。

1面写真募集要領 次回の締切12月16日

- 規 格: 六つ切(紙焼き)、カラー。二重応募(他のコンテスト等に応募した作品の応募)は禁じ、未発表・未公開のオリジナル作品に限ります。写真は編集上、トリミングすることがあります。また、応募された作品は返却できませんのでご了承ください。
●著 作 権: 作品の著作権は製作者本人に帰属します。ただし、6カ月間、他媒体での発表等をご遠慮いただくことを、作品採用の条件といたします。
●期 限: 12月16日(金)当日消印有効
●添付書類: 撮影者の住所・氏名・年齢・電話番号・撮影年月日・撮影場所・作品名を写真裏面に記載し、郵送にてご応募ください。なお、採用された場合、後日作品のコメントをいただくことがあります。
●宛 先: 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 武蔵野市議会事務局 市議会だより係
●問 い 合 せ: TEL0422-60-1883